

	水産	畜産	農産	森林	農林	水産
水産	水産資源の持続的利用 水産資源の持続的利用 水産資源の持続的利用					
畜産		畜産資源の持続的利用 畜産資源の持続的利用 畜産資源の持続的利用				
農産			農産資源の持続的利用 農産資源の持続的利用 農産資源の持続的利用			
森林				森林資源の持続的利用 森林資源の持続的利用 森林資源の持続的利用		
農林					農林資源の持続的利用 農林資源の持続的利用 農林資源の持続的利用	
水産(学)						水産資源の持続的利用 水産資源の持続的利用 水産資源の持続的利用

農林水産省, 2007

3. 農林水産分野の地球温暖化防止策

森林吸収源対策の推進

- 森林吸収源の拡大と森林吸収源の持続的利用
- 森林吸収源の拡大と森林吸収源の持続的利用
- 森林吸収源の拡大と森林吸収源の持続的利用

バイオマス資源の適正利用

- バイオマス資源の適正利用
- バイオマス資源の適正利用
- バイオマス資源の適正利用

農林水産分野における産業・事業の創出

- 農林水産分野における産業・事業の創出
- 農林水産分野における産業・事業の創出
- 農林水産分野における産業・事業の創出

食品産業分野の対策

- 食品産業分野の対策
- 食品産業分野の対策
- 食品産業分野の対策

畜産分野の対策

- 畜産分野の対策
- 畜産分野の対策
- 畜産分野の対策

水産分野の対策

- 水産分野の対策
- 水産分野の対策
- 水産分野の対策

研究開発

- 研究開発
- 研究開発
- 研究開発

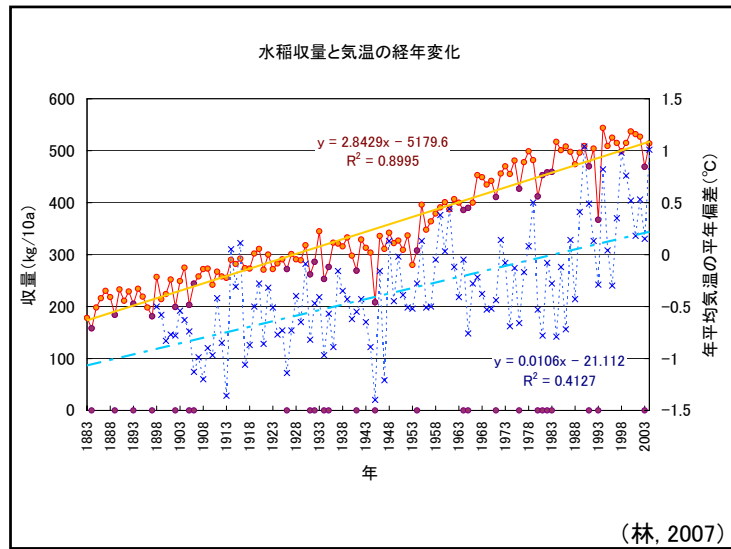
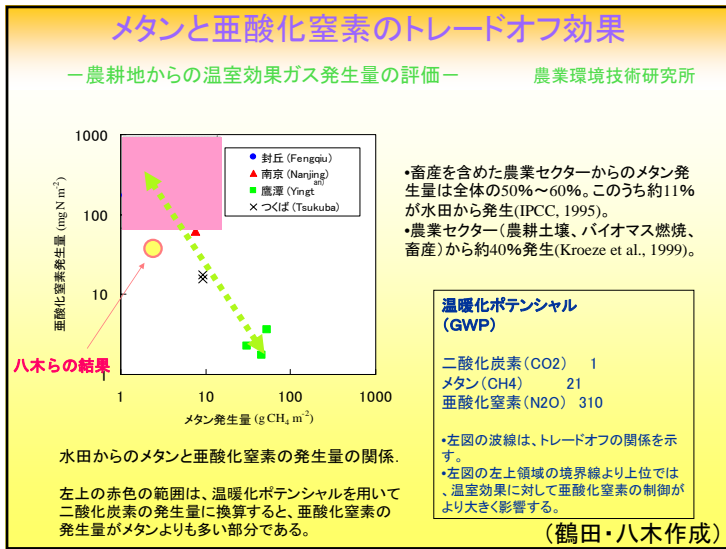
農業農村整備事業の推進

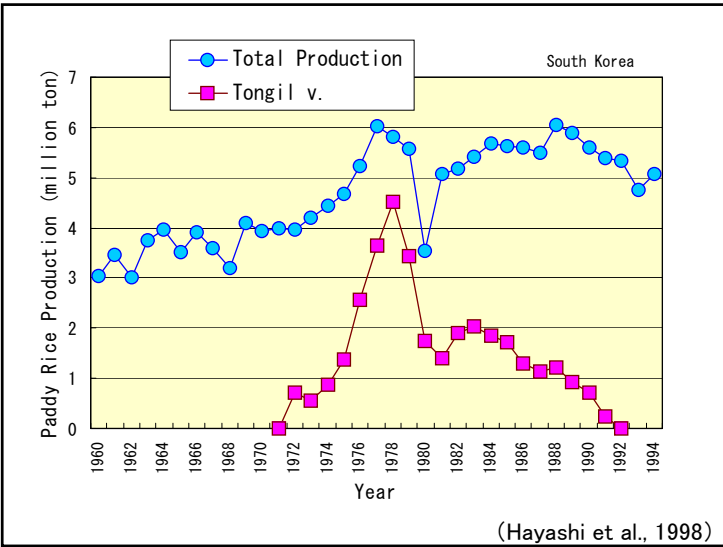
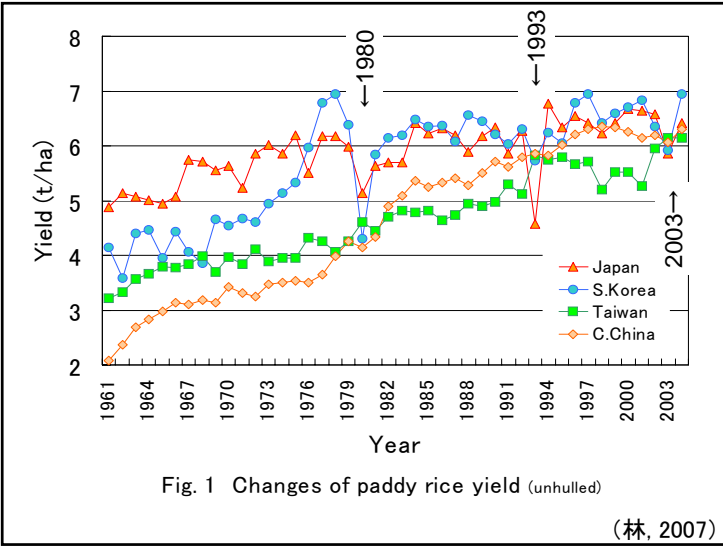
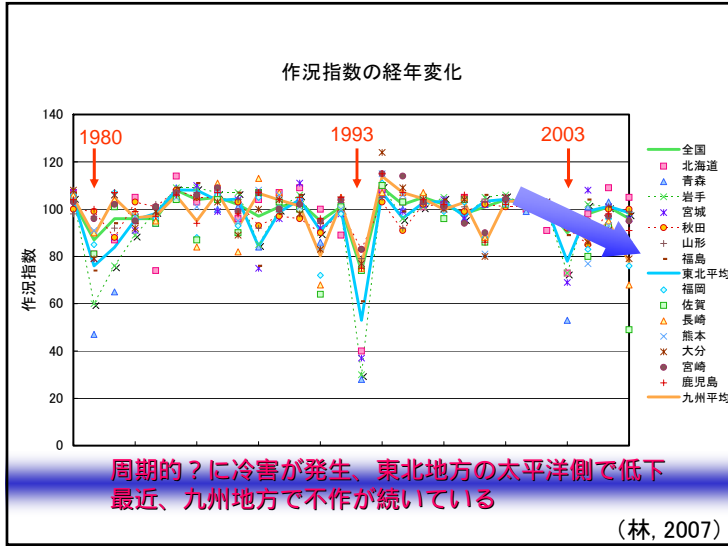
- 農業農村整備事業の推進
- 農業農村整備事業の推進
- 農業農村整備事業の推進

地域経済の振興

- 地域経済の振興
- 地域経済の振興
- 地域経済の振興

農林水産省, 2007



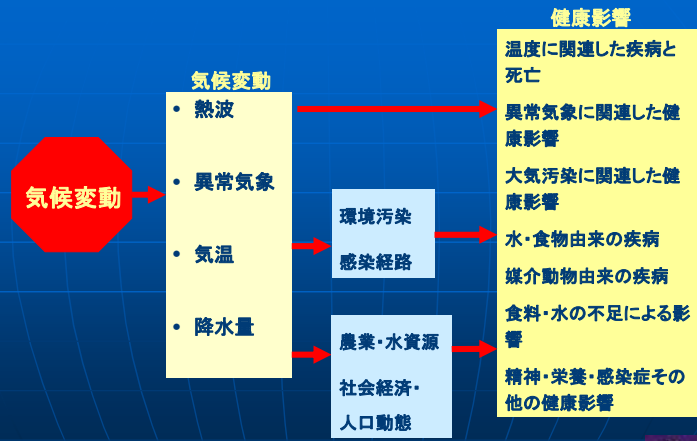


気候変動の健康影響： 感染症その他の健康被害の脅威と対処法

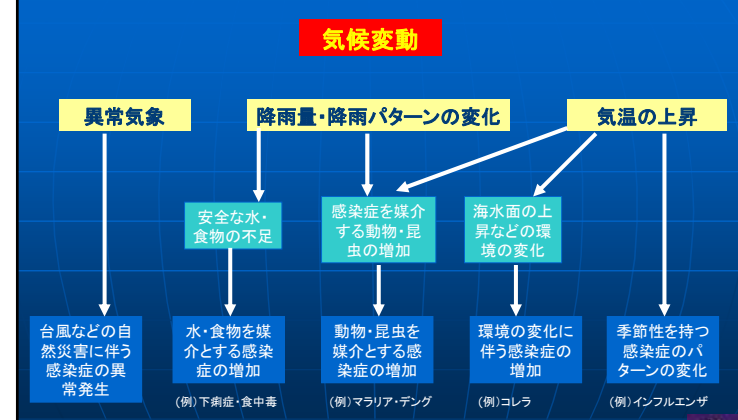
東北大学大学院医学系研究科
押谷 仁



気候変動の健康に及ぼす影響



気候変動の感染症に及ぼす影響



気候変動の感染症に及ぼす影響

- 感染症は宿主・微生物・環境の要因が複雑に絡み合っ
て発生する
- 気候因子は環境要因のうちの一部を規定するに過
ぎない
- 気候変動の感染症に及ぼす影響を正しく評価する
ことは非常に難しい

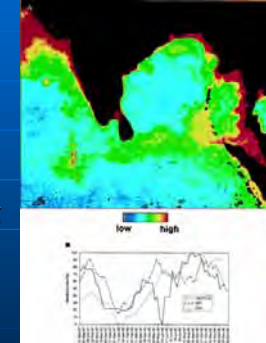
内閣府気候変動シンポジウム 2007.8.20

東北大学医学系研究科微生物学分野



温暖化とコレラ

- コレラを含むVibrio属の細菌はもともと海水と淡水の交じり合う汽水域に生息
- 海水温の上昇がコレラ患者数の増加と関連
- 海水面の上昇とともに汽水域が拡大するとコレラ患者の増大につながる可能性がある



Lobitz, Brad et al. (2000) Proc. Natl. Acad. Sci. USA 97, 1438-1443

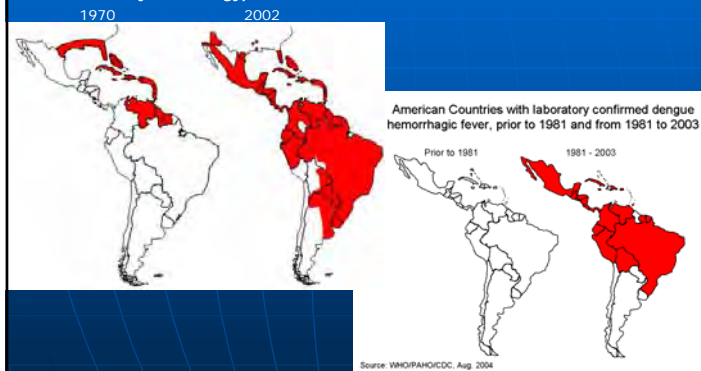
内閣府気候変動シンポジウム 2007.8.20

東北大学医学系研究科微生物学分野



温暖化とデング熱

Reinfestation by *Aedes aegypti* in the Americas



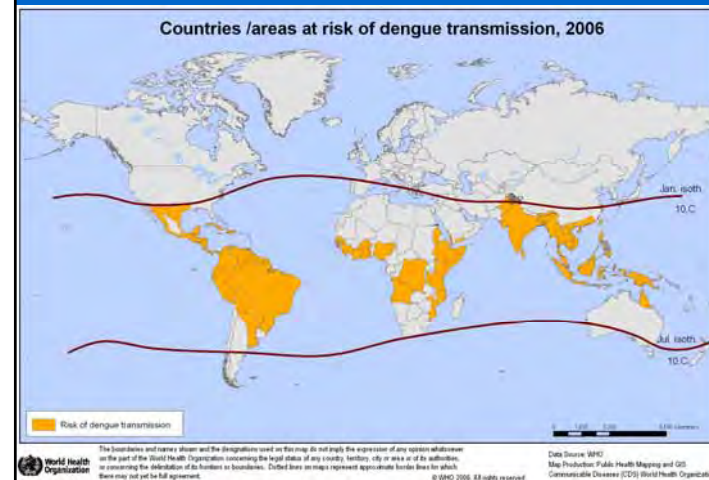
Source: WHO/PAHO/CDC, Aug. 2004

内閣府気候変動シンポジウム 2007.8.20

東北大学医学系研究科微生物学分野



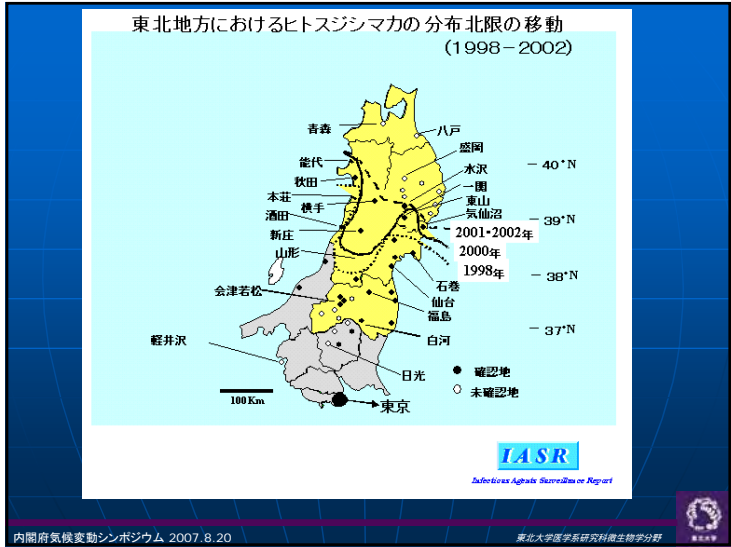
Countries / areas at risk of dengue transmission, 2006



内閣府気候変動シンポジウム 2007.8.20

東北大学医学系研究科微生物学分野

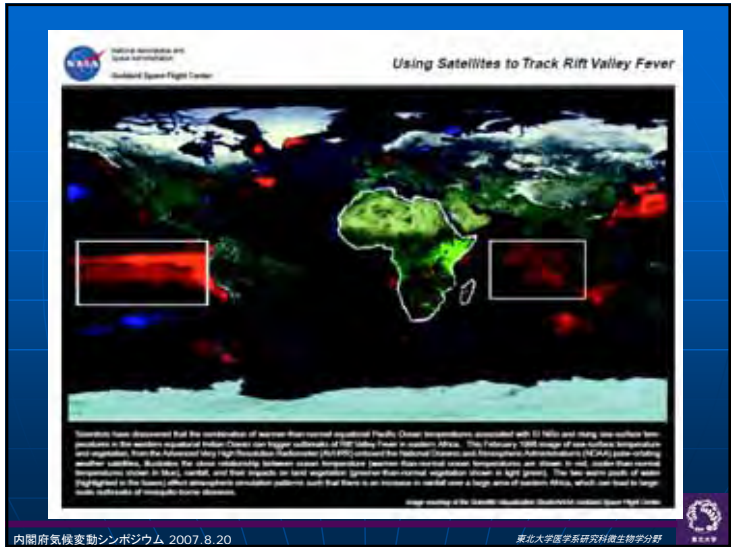




温暖化とリフトバレー熱

- リフトバレー熱
 - ・ 主にアフリカに見られるウイルス感染症
 - ・ 家畜(ヒツジ・ヤギ・ウシ)などから蚊を媒介してヒトに感染
- インド洋の海水温が上昇→アフリカでの降水量の増加→媒介蚊の増加→家畜での感染率の増加→ヒトでの感染の増加

内閣府気候変動シンポジウム 2007.8.20
東北大学医学系研究科微生物学分野



2006年末から2007年にかけてのリフトバレー熱の流行

- タンザニア
 - ・ 264例(死者109)
- ケニア
 - ・ 684例(死者155)
- ソマリア
 - ・ 114例(死者51)

(2007年5月9日現在)

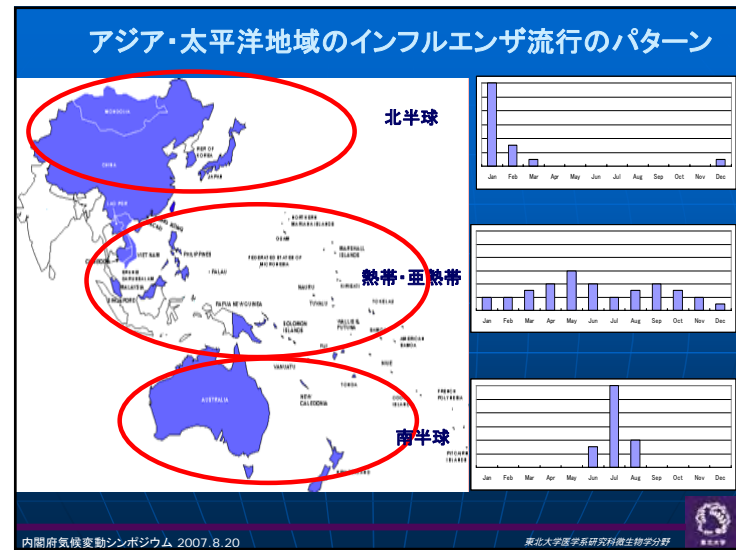
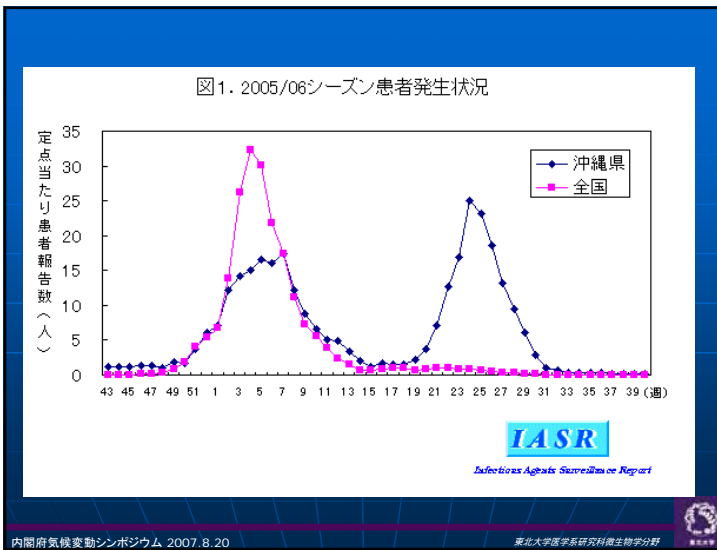
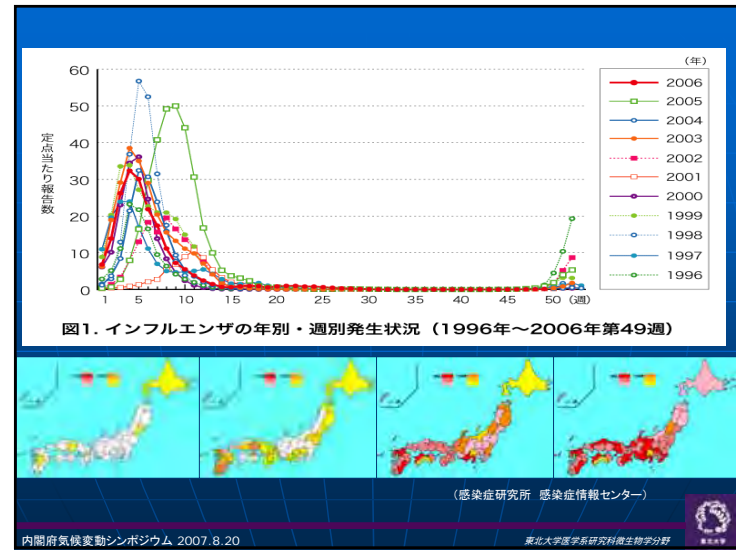
内閣府気候変動シンポジウム 2007.8.20
東北大学医学系研究科微生物学分野

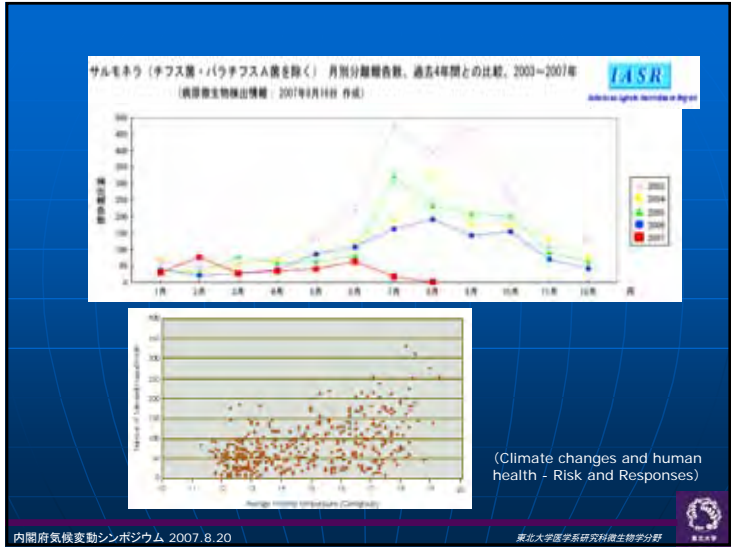
温暖化と季節性を持つ感染症

- 多くの感染症には季節性がある
(例: インフルエンザ)
- 温暖化により感染症の季節性がどのように変化していくのかはよくわかっていない

内閣府気候変動シンポジウム 2007.8.20

東北大学医学系研究科微生物学分野





温暖化と新興感染症

- 近年連続して起きているSARS・鳥インフルエンザなどの新興感染症は気候変動と関連があるのか？

内閣府気候変動シンポジウム 2007.8.20 東北大学医学系研究科微生物学分野

気候変動による感染症以外の健康被害

- 熱波・暑熱の影響
 - 熱中症：特に社会的弱者に大きな影響
 （先進国では高齢者、途上国では貧困層）
- 洪水・台風などの自然災害による健康被害の増大
- 旱魃による食料の不足
- 安全な水の不足
- オゾン層の破壊による紫外線の増加

内閣府気候変動シンポジウム 2007.8.20 東北大学医学系研究科微生物学分野

気候変動による健康被害への対応

- 気候変動が感染症等、健康に及ぼす影響についてはよくわかっていない
 - ☞ 現時点での影響および将来予測についての評価をさまざまな角度から行う必要がある
 - ☞ 影響を継続的にモニタリングする必要がある
 - ☞ 健康被害を最小限に抑えるために有効な対策を国際的な枠組みの中で進めていく必要がある

内閣府気候変動シンポジウム 2007.8.20 東北大学医学系研究科微生物学分野